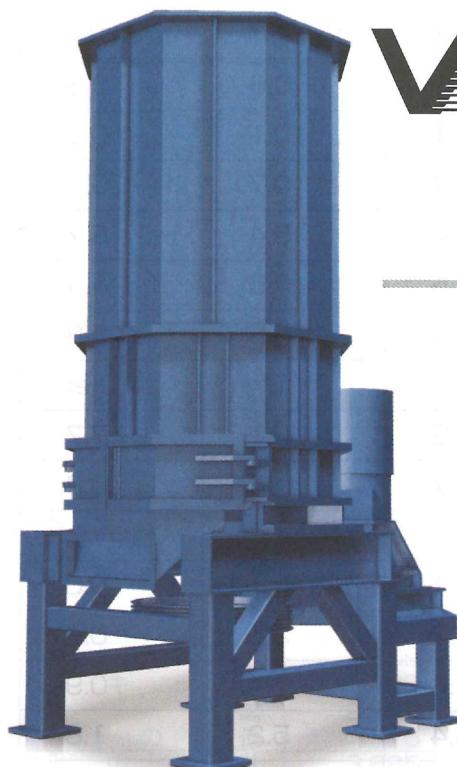


資源リサイクルを支える技術・サービス

バイスター
V-BUSTER



近畿工業



モーター破砕前



モーター破砕後

碎く・剪る・選ぶに強みを持つ同社が満を持して開発したV-BUSTER(バイスター)は市町村が管轄するクリンセンターや家庭リサイクル工場などに豊富な納入実績を持つ同社の堅型回転式破砕機に応用技術を加え、自動車電装用モーター(ワイヤーモーターやパワーウィンドウモーターなど)、小型工業用雑品、小型家電、家庭用雑品、不燃粗大ゴミなど幅広い品目を処理対象物としている。

同機の主な特長は速やかな機外排出によって、鋼やアルミの抱き込みを抑制し、破碎後の選別工程において、純度の高い金属素材回収が実現できる「優れた単体分離性」のほか、破碎物を滞留させることなく、機外へ排出できるため、無駄な電

力消費を抑えられる「省エネ化」、堅型タイプによる「省スペース化」を実現。また、排出粒度を調整する機能を持たせ、20mm、100mmのサイズで自由な粒度調整が可能となる。さらに、両方向回転ローターを採用し、定期的に回転方向の切り替え

雑品市場の存続危惧が注目度の高さを後押し

中国からの品質要求の厳格化を受けた雑品市場の存続危機に加え、内需縮小によって、将来的に鉄スクラップの発生増も見込めないだけに、業界内からは他社との差別化に向け、扱い品目の多様化や自社スクラップの付加価値向上に対する機運がここにきて高まりを見せており、その中で、鉄・

非鉄の複合素材の自社処理を試みようとする声が格段に広まっている。今年5月に開催されたNEW環境展でPRしたV-BUSTERの見学者は、依頼も早くから多数の声が寄せられるだけでなく、同社では14年12月に業界初となる黒セーターや工業系雑品の破碎処理に特化したスーパー・レッダーを開発し、全国

的に知名度の高い大手金属リサイクル業2社への導入以降も見学が後を絶たない点でも、業界ニーズを反映した両機に対する注目度の高さを示していることが窺がえる。小型の金属複合物にまで幅広い厚みを持たせた同機は、これから総合リサイクルへ舵を切る企業だけでなく、すでに総合リサイクルへ転換している企業にとっても、高い専門性を發揮することができる。選別技術にも高い評価を持つ同社は、時

破砕機選別機メーカーの近畿工業(本社=兵庫県神戸市、和田直哉社長)が小型金属複合物などの処理に特化した「V-BUSTER」を開発し、今春から販売を開始している。5月に行われた「2017 NEW環境展」でのP.R.以降、時代ニーズに合わせて、業界内から早くも高い注目を集めている。

堅型破砕機に新技術導入 小型工業系雑品などに対応

力消費を抑えられる「省エネ化」、堅型タイプによる「省スペース化」を実現。また、排出粒度を調整する機能を持たせ、20mm、100mmのサイズで自由な粒度調整が可能となる。さらに、両方向回転ローターを採用し、定期的に回転方向の切り替え

力消費を抑えられる「省エネ化」、堅型タイプによる「省スペース化」を実現。また、排出粒度を調整する機能を持たせ、20mm、100mmのサイズで自由な粒度調整が可能となる。さらに、両方向回転ローターを採用し、定期的に回転方向の切り替え

力消費を抑えられる「省エネ化」、堅型タイプによる「省スペース化」を実現。また、排出粒度を調整する機能を持たせ、20mm、100mmのサイズで自由な粒度調整が可能となる。さらに、両方向回転ローターを採用し、定期的に回転方向の切り替え

力消費を抑えられる「省エネ化」、堅型タイプによる「省スペース化」を実現。また、排出粒度を調整する機能を持たせ、20mm、100mmのサイズで自由な粒度調整が可能となる。さらに、両方向回転ローターを採用し、定期的に回転方向の切り替え

製品等に関する問い合わせ先

近畿工業(株)

Tel 650-0023
神戸市中央区栄町通4-2-18
電話 078-351-0770
<http://www.kinkikogyo.co.jp/>

代背景を追い風にこれら2種の破碎機单体だけではなく、各種選別機を組み込んだプラント型の提案で、受していく考え方